

## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月13日

上場会社名 株式会社アルファポリス 上場取引所 東  
 コード番号 9467 URL <https://www.alphapolis.co.jp/company/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶本 雄介  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼管理本部本部長 (氏名) 大久保 明道 TEL 03-6277-0123  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	12,289	—	2,748	—	2,783	—	1,672	—
2025年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 1,672百万円（－％） 2025年3月期第3四半期 一百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	57.56	—
2025年3月期第3四半期	—	—

（注）1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
 2. 2026年3月期中間期より連結財務諸表を作成しているため、2025年3月期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	19,264	14,974	77.7
2025年3月期	—	—	—

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 14,974百万円 2025年3月期 一百万円

（注）2026年3月期中間期より連結財務諸表を作成しているため、2025年3月期の数値は記載しておりません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	24.00	24.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,100	—	3,720	—	3,760	—	2,330	—	80.18

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無  
 2. 2026年3月期中間期より連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有  
新規 1社 (社名) 株式会社WHITE FOX、 除外 1社 (社名) -
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	29,062,200株	2025年3月期	29,062,200株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	1,026株	2025年3月期	957株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	29,061,202株	2025年3月期3Q	29,061,378株

(注) 当社は、2025年1月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(連結範囲の重要な変更) .....	7
(会計方針の変更に関する注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(企業結合等関係) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

当社は、株式会社WHITE FOXの全株式を取得し、子会社化したことにより中間連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っていません。

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2025年4月1日から2025年12月31日まで)におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中で緩やかな回復が続いているものの、米国の通商政策の影響に加えて、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響等も我が国の景気を下押しするリスクとなっており、また、金融資本市場の変動等の影響が懸念される等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの出版事業が属する出版業界におきましては、紙の出版物の市場は厳しい状況が続いているものの、一方で電子出版の市場は堅調な成長を続けております。公益社団法人全国出版協会・出版科学研究所によると、2025年(1月から12月まで)の紙と電子を合算した推定販売金額は前年比1.6%減の1兆5,462億円となり、その内訳は、紙の出版物については同4.1%減の9,647億円、電子出版については同2.7%増の5,815億円となっております。

こうした環境の中、当社グループは、「これまでのやり方や常識に全くとらわれず」、「良いもの面白いもの望まれるものを徹底的に追求していく」というミッションの下、インターネット時代の新しいエンターテインメントを創造することを目的とし、インターネット上で話題となっている小説・漫画等のコンテンツを書籍化し、さらにアニメ化等のメディア展開を行う事業に取り組んでまいりました。

以上の活動の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は12,289,987千円、営業利益は2,748,836千円、経常利益は2,783,337千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,672,795千円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当社グループの報告セグメントは、従来「出版事業」の単一セグメントでありましたが、中間連結会計期間より、株式会社WHITE FOXを連結子会社化したことに伴い、報告セグメント「アニメ制作事業」を追加しております。

#### (出版事業)

当セグメントにおいては、当社が運営する小説・漫画等の投稿サイトに投稿されたコンテンツを編集・出版し、全国書店や電子書店等で販売する事業を主に行っております。

当第3四半期連結累計期間における出版事業のジャンル別の概況は次のとおりであります。

#### ① ライトノベル

当第3四半期連結累計期間の刊行点数は前年同期を上回る272点(前年同期比10点増)となりました。

2026年1月にTVアニメ放送を開始する『最推しの義兄を愛するため、長生きします!』の最新巻6巻を刊行し、さらに既刊の増刷及び出荷を行ったことで、同シリーズの売上が大きく伸びました。また、電子書籍販売につきましては、電子販売と親和性の高い女性向け小説が引き続き好調に推移し、当ジャンルの売上が牽引いたしました。

結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期を上回る着地となりました。

#### ② 漫画

当第3四半期連結累計期間の刊行点数は前年同期を上回る159点(前年同期比12点増)となりました。

各書籍の売れ行きにつきましては、『月が導く異世界道中』『ゲート』等の大型人気シリーズの続刊や当四半期にTVアニメ放送をした『最後にひとつだけお願いしてもよろしいでしょうか』『素材採取家の異世界旅行記』が電子書籍販売を中心に好調に推移し、売上が牽引いたしました。

結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期を大幅に上回る着地となりました。

#### ③ 文庫

当第3四半期連結累計期間の刊行点数は前年同期を上回る156点(前年同期比14点増)となりました。

「キャラ文芸」「歴史・時代小説」「ライト文芸」「児童書」等、様々なジャンルで毎月開催するWebコンテンツ大賞の応募作の中から、受賞作を中心に優秀な作品を複数刊行し、取り扱いジャンルの強化及び拡大に注力してまいりました。

結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期を上回る着地となりました。

## ④ その他

当第3四半期連結累計期間の刊行点数は7点（前年同期比2点増）となりました。

ホラー小説『お客様が不在の為に荷物を持ち帰りました。』や絵本『モグラくんそとのせかいへゆく!』等、幅広いジャンルにおいて書籍を刊行する等、特定ジャンルに依存しない体制構築を目的として、新規ジャンルの開拓・強化に努めてまいりました。

結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期を上回る着地となりました。

以上の活動の結果、当第3四半期連結累計期間の出版事業の売上高は12,234,867千円、セグメント利益は2,791,864千円となりました。

## (アニメ制作事業)

当セグメントは、株式会社WHITE FOXを連結子会社化したことに伴い追加したセグメントであり、同社において主にテレビ放送用や動画配信用のアニメーション等の映像制作サービスを提供しております。

大型案件のスケジュールの関係上、当第3四半期（2025年10月から12月）における納品が当初の計画通り少なかったことから、当第3四半期連結累計期間のアニメ制作事業の売上高は55,120千円、セグメント損失は43,028千円となりました。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

## ① 資産

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は16,656,550千円となりました。主な内訳は、現金及び預金が11,143,905千円、売掛金が4,107,182千円であります。

固定資産は2,607,649千円となりました。主な内訳は、のれんが1,233,440千円、投資その他の資産が927,027千円であります。

## ② 負債

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は4,136,794千円となりました。主な内訳は、その他が1,555,498千円、未払金が1,465,416千円、未払法人税等が502,434千円、返金負債が469,341千円であります。

固定負債は153,116千円となりました。主な内訳は、長期借入金が93,531千円、繰延税金負債が41,114千円であります。

## ③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産は14,974,289千円となりました。主な内訳は、利益剰余金が13,257,526千円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年11月13日の「連結決算への移行に伴う連結業績予想の公表に関するお知らせ」において公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、連結業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	11,143,905
売掛金	4,107,182
製品	417,762
仕掛品	838,946
その他	148,754
流動資産合計	16,656,550
固定資産	
有形固定資産	391,245
無形固定資産	
のれん	1,233,440
その他	55,936
無形固定資産合計	1,289,376
投資その他の資産	927,027
固定資産合計	2,607,649
資産合計	19,264,200
<b>負債の部</b>	
流動負債	
買掛金	51,880
1年内返済予定の長期借入金	26,652
未払金	1,465,416
未払法人税等	502,434
賞与引当金	40,129
投稿インセンティブ引当金	25,440
返金負債	469,341
その他	1,555,498
流動負債合計	4,136,794
固定負債	
長期借入金	93,531
繰延税金負債	41,114
その他	18,470
固定負債合計	153,116
負債合計	4,289,911
<b>純資産の部</b>	
株主資本	
資本金	863,824
資本剰余金	853,824
利益剰余金	13,257,526
自己株式	△886
株主資本合計	14,974,289
純資産合計	14,974,289
負債純資産合計	19,264,200

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	12,289,987
売上原価	2,804,704
売上総利益	9,485,283
販売費及び一般管理費	6,736,447
営業利益	2,748,836
営業外収益	
受取利息	9,383
前払式支払手段失効益	6,961
為替差益	16,715
その他	2,724
営業外収益合計	35,785
営業外費用	
支払利息	755
その他	529
営業外費用合計	1,284
経常利益	2,783,337
税金等調整前四半期純利益	2,783,337
法人税等	1,110,541
四半期純利益	1,672,795
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,672,795

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,672,795
四半期包括利益	1,672,795
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	1,672,795
非支配株主に係る四半期包括利益	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

## (連結範囲の重要な変更)

中間連結会計期間より、株式会社WHITE FOXの全株式を取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。

なお、みなし取得日を2025年9月30日としており、中間連結会計期間においては貸借対照表のみを連結し、当第3四半期連結会計期間より損益計算書を連結しております。

## (会計方針の変更に関する注記)

## (中間連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲の変更)

従来、キャッシュ・フロー計算書における資金（現金及び現金同等物）の範囲については、「手許現金、随時引き出し可能な預金」としておりましたが、中間連結会計期間より、「容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3か月以内に償還期限の到来する短期的な投資」を資金の範囲に含めております。

この変更は、株式会社WHITE FOXの子会社化に伴い、同社が保有する定期預金を適切に連結キャッシュ・フロー計算書へ反映させるために行ったものであります。

なお、当社は中間連結会計期間より中間連結キャッシュ・フロー計算書を作成しておりますので、遡及適用は行っておりません。

## (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

## (税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

## 1. 報告セグメントの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	出版事業	アニメ制作 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	12,234,867	55,120	12,289,987	—	12,289,987
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,234,867	55,120	12,289,987	—	12,289,987
セグメント利益又は損失(△)	2,791,864	△43,028	2,748,836	—	2,748,836

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

## (のれんの金額の重要な変動)

中間連結会計期間において、株式会社WHITE FOXの全株式を取得し、連結の範囲に含めたことに伴い、「アニメ制作事業」においてのれんが1,265,067千円発生しております。のれんの金額は中間連結会計期間末において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第3四半期連結会計期間にて確定しております。この暫定的な会計処理の確定に伴う金額の変動はありません。

## (企業結合等関係)

## (企業結合に係る暫定的な会計処理の確定)

2025年7月31日に行われた株式会社WHITE FOXとの企業結合について中間連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第3四半期連結会計期間にて確定しております。この暫定的な会計処理の確定に伴う金額の変動はありません。

## (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	35,706千円
のれんの償却額	31,626千円

## (重要な後発事象)

## (NIAアニメーション株式会社の株式取得について)

当社は、2026年2月13日開催の取締役会において、NIAアニメーション株式会社の全株式を取得し子会社化することについて決議し、同日付で株式譲渡契約を締結し、全株式を取得いたしました。

なお、詳細につきましては、2026年2月13日に公表いたしました「NIAアニメーション株式会社の株式取得（子会社化）に関するお知らせ」をご参照ください。